

市立病院の産婦人科を幕張海浜病院へ集約します

～母体・胎児集中治療室（MFICU）を拡充し、市西部地区の産婦人科医療を強化～

千葉市では、市西部地区の産婦人科医療の強化を図るため、青葉病院の婦人科を、幕張海浜病院へ集約しますので、お知らせします。

また、幕張海浜病院では、海浜病院からの移転に伴い、母体・胎児集中治療室（MFICU）を令和8年10月に拡充しており、今回の集約により、より高度で専門的な産婦人科医療の提供体制を強化します。

なお、青葉病院における婦人科の新規患者受け入れは、段階的に停止します。

1 背景

現在、市内の産婦人科の主要な医療機関は、中央区に千葉大学附属病院と千葉医療センター、千葉メディカルセンター、青葉病院と4病院ある一方で、市西部地域では、幕張海浜病院が中心的な役割を担っており、当該地域の産婦人科医療の強化が課題となっています。このため、市西部地域における産婦人科医療の強化を図るとともに、限られた医療資源を効果的かつ安定的に活用するため、青葉病院の婦人科を幕張海浜病院に集約します。

また、今後の出生数の減少を見据え、医師や助産師等の人的資源を集約することで、高度で専門的な産婦人科医療を提供する体制を構築します。

2 集約時期

令和9年4月1日（木）（予定）

3 集約化によるメリット

- (1) 女性特有の疾患に対して、より幅広く専門的な医療を提供することが可能となります。
- (2) 医師を集約することで、医師一人当たりの当直回数の削減が図られ、医師の負担軽減や働き方改革の推進につながります。

4 母体・胎児集中治療室（MFICU）拡充のメリット

母体・胎児集中治療室（MFICU）の病床数を拡充（3床→6床）したことで、より多くの妊婦の方へ高度で専門的な医療の提供が可能となります。

5 青葉病院の患者への対応

入院患者および外来患者の皆さまが継続して必要な医療を受けられるよう、次のとおり適切に対応してまいります。

- (1) 現在入院中の患者については、診療体制を段階的に縮小する中で、必要に応じて幕張海浜病院や近隣の医療機関と連携し、円滑な転院調整を行います。
- (2) 外来患者については、地域の医療機関を紹介するなど、継続して必要な診療が受けられるよう対応します。
- (3) 千葉大学附属病院からも市内医療機関に対し、青葉病院からの患者の受け入れについて協力を依頼する予定です。

<参考>

1 MFICU とは

MFICU は、「Maternal fetal Intensive Care Unit」の略で、日本語では「母体・胎児集中治療室」と呼ばれます。妊娠中に重症妊娠高血圧症候群、糖尿病合併妊娠、前置胎盤、多胎妊娠、切迫早産、胎児発育不全などのリスクがある場合、母体と胎児の状態を24時間体制で監視・管理し、必要に応じて適切な治療を行う施設です。

2 市立病院の産婦人科等の患者数

	入院延べ患者数		外来延べ患者数	
	青葉病院 婦人科※	幕張海浜病院 産科・婦人科	青葉病院 婦人科※	幕張海浜病院 産科・婦人科
令和7年度	2,293 人	7,423 人	10,571 人	9,991 人
令和6年度	2,163 人	8,429 人	9,899 人	11,136 人
令和5年度	2,170 人	8,529 人	9,217 人	11,153 人

※令和8年10月1日に青葉病院の産婦人科は婦人科へ名称変更しました。

問い合わせ先

【青葉病院に関すること】

病院局市立青葉病院 電話 2 2 7 - 1 1 3 1

【幕張海浜病院に関すること】

病院局市立幕張海浜病院 電話 2 7 7 - 7 7 1 1